

# 千葉県社保協通信

2014年度 — No8 2014年 11月 18日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール [syaho2006@star.ocn.ne.jp](mailto:syaho2006@star.ocn.ne.jp)

## 11.11 介護・認知症 なんでも 電話相談

切実な声  
相次ぐ



県社保協は、11月11日「いい介護の日-介護・認知症なんでも電話相談」を行いました。今回は認知症の人と家族の会千葉県支部の協力により、事前の打ち合わせおよび当日の電話相談が実施できました。当日は電話2台に14名の相談員で対応。相談は、事前に新聞報道がされた直後に2件、当日は21件、9件が認知症にかかわる相談でした。

中央社保協のとりくみが13時のNHKニュースで報道され、午後は電話が途切れることなく相談が寄せられました。相談内容はどれも深刻で1時間半近くに及びものもありました。介護保険制度が施行されて15年、「困ったことがあってもどこに相談したらいいかわからない」などアクセスの悪さや認知症介護をめぐるのは、制度そのものがまだまだ不十分、介護者の病気などの不安、家族関係の困難さ、要介護者本人の介護やサービス利用拒否などから介護者が追いつめられている状況がうかがえます。また、同じような悩みを抱える人との交流を望む声も寄せられました。施設問題では、特養待機の状態のもとで、費用負担が重くのしかかっている現状、有料老人ホームなどでの介護内容、人手不足の問題などが浮き彫りになりました。

### 「国保の会」東葛5市交流会が県要請

## 住民の顔の見える国保行政を



「国保の会」東葛5市交流会は、「国保改善と医療受診健を守る要請書」を県知事に提出。11月17日、保健指導課と懇談しました。要請項目は、国庫負担を従前の水準（総医療費の45%）に戻すよう国に働きかけること、資格証の発行を止めるよう市町村を指導すること、国保料を滞納している生活困窮者に対して強権的な差押えをしないことなど8項目。

柏の国保をよくする会岸勝利事務局長は「厚労省モデルの母子世帯(30歳・4歳・2歳)の最低生活費年間2,744,640円と同様の世帯の場合、柏市の国保料は236,600円。年金保険料と所得税等の税あわせて50万円の重い負担になる」と指摘。これに対し県は「研究したい」と応えました。

懇談の中で、永井龍哉副課長は「国保の制度設計上の問題の責任は国にある。国保の基盤強化は必要であり、そのために今後も必要な意見は国に言っていく」とし「(社保協指摘の)子どもに課す保険料(均等割)は確かに問題。少子化対策の国の政策もあり、県として意見をあげ全国知事会でも取り上げられ、国への要請となった」ことを明らかにしました。

松戸市の国保をよくする会堀田セツ子事務局長は「住民の立場からの意見が盛り込まれたことは運動の成果」と話しました。懇談には柏、松戸、流山の国保の会と県社保協国保部会から8人が参加、丸山慎一県議が同席しました。

### 千葉県社保協「再建」20周年講演会

一人ひとりの人権が保障される  
地域づくりのために

講師／芝田英昭氏 (立教大学教授)

時／11月29日(土)

午後2:30～4:30 受付2:00

所／千葉県教育会館303